

## 京都・観光文化検定試験 1級 記述式試験の留意点について

京都・観光文化検定試験「1級」の問題は、すべて「記述式」です。  
出題形式は、質問に対して「語句」で答える形式、短文・長文の穴埋め形式、そして、  
150字～200字の小論文形式などがあります。  
解答にあたっては、次の点に御留意ください。

- 問題をよく読むこと。
- 試験の制限時間は、90分です。時間配分をよく考えて取り組んで下さい。
- 文字は、楷書で読みやすいように配慮してご記述下さい。
- 漢字は、公式テキストでの表記にかかわらず、「常用漢字」のレベルで可。
- 「人名・地名」などの固有名詞は、漢字で記載してください。
- 神話の神々の名前は、カタカナ（ひらがな）で可。 例. スサノオノミコト  
但し、祀られている神が「人物」である場合は、漢字で記載してください。  
例. 桓武天皇
- 花の名前は、カタカナ（ひらがな）で可。 例. アジサイ
- 小論文は、字数に注意し、150字～200字で、文章になっていること。単語の羅列だけでは減点される場合があります。

※漢字の用字・カタカナ表記について、京都検定の採点としては上記の通り「可」といたしますが、京都検定は京都を学ぶ入口に過ぎません。漢字表記にもそれぞれに意味がある場合が少なくありません。より深く勉強されますことを希望します。

以 上